

令和2年度 文京区立金富小学校 授業改善推進プラン

第5学年

教科	指導上の成果と課題の分析	授業改善の具体的な方策
国語	<p>・1学期の達成率は、73%であった。漢字を正しく書くことが苦手な児童がいる。また、漢語や和語の違いや同音異義語を正しく理解できていない児童がいる。 【知識・技能】</p>	<p>・児童の習熟を把握し、間違いが多い漢字や言葉を繰り返し復習する機会を増やす。また、言葉の意味を確認する機会を増やし、イラストや場面と合わせながら一緒に覚える活動を取り入れていく。</p>
社会	<p>・1学期の達成率は、82%であった。世界の中の国土の単元では、日本から見た世界の国々の位置が掴めない児童がいる。 【思考・判断・表現】</p>	<p>・「南半球、北半球」「緯線・経線」「方角」などの地図を読み取るために必要な基礎的な知識の習熟を図ると共に、「基準」に対しての適切な情報を読み取ることや、空間認識力の育成を目指していく。</p>
算数	<p>・1学期の達成率は、57%であった。問題解決の際に、様々な考え方で解いたり表現したりすることが苦手な児童がいる。 【思考・判断・表現】</p>	<p>・問題解決の場面で、答えを求めるだけでなく、多様な方法で問題を解いたり、多様な方法を用いた解き方について説明をしたりすることを通して、表現する素地を養う。</p>
理科	<p>・1学期の達成率は、71%であった。検証計画の立案や実験、観察に関する技能は定着しつつあるものの、仮説をより具体的に立てたり、結果をもとに考察したり、友達の考えから自分の考えを広げ深めたりしていくことに難しさを感じている児童も多い。 【思考・判断・表現】</p>	<p>・「仮説の立て方」や「考察の方法」を段階的に示し、スモールステップで表現方法を身に付けていく。その中で、自分の考えだけでなく、対話的活動を通してより妥当性のある思考や表現を導き、全体で共有することで科学的思考力を高めていく。</p>
体育	<p>・学年全体として、走能力、敏捷性、柔軟性が平均より低い児童が多い。 【知識・技能】</p>	<p>・体育の準備運動の時間に、柔軟運動を取り入れていく。また、走る時のフォームや視線など、上達するためのポイントも知識として教えながら、数値化して子どもたちが自分の上達度が分かる工夫をしていく。</p>
家庭	<p>・手縫い等の実践的な活動については、興味関心をもって取り組める児童が多かったものの、玉止めや本返し縫いなど、技能が必要になってくる縫い方については、繰り返し練習する機会の充実が必要である。 【知識・技能】</p>	<p>・ICT機器を活用し、手元の動きを拡大したり、繰り返し再生等を使ったりして、一人一人が裁縫の技能を確認して取り組める機会の充実を図る。</p> <p>・授業で定期的に練習し復習する機会を作ったり、家庭と連携し、日常生活の中で実践できる機会を設けたりしていく。</p>